



延岡小学校(4・5・6年生・200名)よのなか教室 「夢をはぐくむ講演会」

令和3年11月19日(金) 8:35～11:10

延岡小学校で、毎年実施されている「夢をはぐくむ講演会」が4・5・6年生を対象に行われました。5・6年生の児童は、2回目、3回目となりますので、「今回は、どんなお話を聞くことができるだろう。」と心待ちにしている様子が伺われました。4年生の児童は、初めての「夢をはぐくむ講演会」ですので、ワクワクした気持ちで待ち望んでいたようです。今回の講演会は6名の方に2回お話をさせていただきました。

<講師の方々>

- 松本 浩和さん (自衛隊宮崎地方協力本部延岡出張所所長)
- 江原 知子さん (夕刊デイリー新聞社日向支社編集部編集者)
- 橋倉 由美さん (のぼりざる製作所製作者)
- 三木 弘さん (旭化成元陸上部選手)
- 佐藤 英樹さん (佐藤幹薬局管理薬剤師)
- 吉田 希美さん (県立延岡病院看護部がん専門看護師)



【授業の様子】



【松本浩和さん】



【江原知子さん】



【橋倉由美さん】



【三木 弘さん】



【佐藤英樹さん】



【吉田希美さん】

講師の方々には、仕事の内容やその仕事に就いたきっかけ、仕事をする上で大切なことなど、ご自身の経験を基にお話されましたので、子どもたちは熱心に聞き入り、今の自分を振り返ったり、将来の夢を考えたりするなど、貴重な時間になりました。

私が一番心に残ったことは、「いつからでも挑戦できるし、希望は実現できる」という言葉です。何歳になってもいろんなことに挑戦し、がんばっていきたいと思いました。

自分の目標を達成するには、今の自分との目標との差を考えて、その差を縮めていくことを大切にしたいと思いました。今回の話を聞いて、自分を見つめ直せるチャンスだと思いました。

お話が分かりやすく、ていねいに話してくださるので、興味がわいてきて、ワクワクするような時間でした。のぼりざるを作る時のこだわりが、顔だったり、頭などの毛が鶏のものだったり、ものすごく考えていらっしゃることに感動しました。

私はこの話を聞いて、「学ぶことの大切さ」を知りました。薬剤師になった後も、勉強を続けなくては新しい薬のことなど分からず、ついていけなくなる」ということを知り、さらに学ぶことの大切さが分かった気がします。これからも忘れずに勉強に励んでいきたいです。

自衛隊には色々な職域(16～17)があることを知り、もっと知りたい、もっと調べてみたいと思いました。私たちが普通に暮らせていることは、自衛隊の皆様が守ってくれていることを知り、自衛隊の存在が大きいことを改めて知ることができました。

事件、事故、災害が起きたら、時間帯に関係なく取材に行くことや、約500人の配達スタッフが一人80件分の夕刊を届けているのもすごいと思いました。記事を書く時には、正しい情報か、一番伝えたいことは何かなどを大切にしていることが分かりました。

児童の感想文より

港小学校 (3・4年生・5名) よのなか教室

「警察署の仕事」

令和3年11月15日(月) 14:05～15:50

港小学校では、学級毎によのなか教室を行っています。今回は、3・4年生の児童が、警察署の仕事についてお話を聞きました。講師は、大野修二さん(延岡警察署警務課警務係長)です。初めに、DVDの視聴があり、警察の仕事について学びました。次に、警察官になるために必要なこと、仕事をする上で心がけていること、また、やりがいや苦労したことなどのお話を聞き、警察の仕事をするより理解することができました。大野さんは、大事にしている言葉として、「一所懸命」を挙げられ、その時々のごとくに真剣に取り組むことの大切さを子どもたちに投げかけられていました。また、サプライズで、パトカーと白バイの方に来校していただき、実際に乗せてもらったり、いろいろな道具に触れさせてもらったりと、貴重な体験をすることができました。



【大野修二さん】



【説明を聞く子どもたち】

～子どもの感想から～

今日は、三・四年生のキャリア教育の勉強で、警察官の仕事についてお話を聞きました。警察官の人の名前は、大野さんです。最初に宮崎けんけいのDVDを見ました。とても分かりやすかったです。それから、警棒やぼうし、手錠、警察手帳など、普段は見られない物を色々見せてくださいました。本物を見ることができて、うれしかったです。最後に、白バイやパトカーも来てくれて、乗せてもらいました。とても珍しいことでした。警察の方、みんなの町を守ってくれてありがとうございます。大野さん、甲斐さん、橋倉さん、ありがとうございました。



恒富中学校 (3年1・3組・62名)

よのなか教室「社会に出て働くことは」

令和3年11月18日(木) 13:30～14:30

コロナ禍で、職場体験や見学が中止となり、急遽、よのなか教室を実施しました。今回は、3年生の1組と2組の生徒が対象で、細川真由美さん(みやざき若者サポートステーション・キャリアコンサルタント)に、「社会に出て働くこと」や「働くことの社会的役割や意義」等について、講話をしていただきました。生徒に質問も交えながら、生徒の目線に立った、分かりやすい説明でした。

＜今考えてほしい大切なこと＞

- ・ 将来どんな仕事に就きたいか。
- ・ そのためにどんな力が必要か。
- ・ 今、何ができるか。



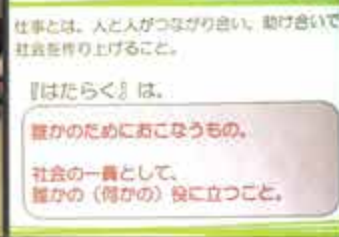
【細川真由美さん】

《生徒の感想文》

- ・ 職業体験ができなかった私たちにとって、とても貴重な体験になりました。「働く」という意味を忘れずに、やってみたいという気持ちを大切に、仕事を選ぼうと思います。
- ・ 「仕事」というと大人のイメージがありました。しかし、自分も友達も先生もみんな支えあっているのだと思いました。「集団」の一人として、感謝して生きなければならないと改めて感じることができました。
- ・ 私は今、進路についてすごく迷っているところです。「経験」が大切に思える時がきっと訪れる」という言葉を大切にしていきたいです。



【授業の様子】



～キャリア教育実践交流会～

2月17日(木)19:00～ 社会教育センター 会議室3

2月の実践交流会は、一ヶ岡小の置巢真宏先生に実践発表をしていただきます。(1月に発表していただく予定でしたが、コロナ感染拡大で中止にしました。)本年度、最後の実践交流会です。是非、ご参加ください。

延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0053 宮崎県延岡市幸町3丁目101番地 延岡駅西口街区ビル3階 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682 <http://nobeoka-career.jp/>